

SAH×進路 進路実現のカギはセルフプランニング

～そのためにはまず敵（試験内容・レベル・ライバル等）を知ることから～

「今彼を知りて己を知れば、百戦殆（あやう）からず。彼を知らずして己を知れば、一勝一負す。彼を知らず己を知らざれば、戦う毎に必ず殆うし。」これは、兵法書「孫子」の有名な教訓の一つです。「敵情を知って、味方の状況も知っていれば、百回戦ったとしても、危険はない。敵情を知らないで、味方の状況を知っていれば、勝ったり負けたりは五分。敵情も味方の状況も知らなければ、戦うたびに必ず危険になるだろう。」という意味です。進路実現を果たすためには、まず「敵を知ること」。3年生は共通テスト模試も始まります。どのような心構えで向かうべきかを伝授します。（編集 教頭）

大学入学共通テスト

○昨年度の時間割 ※今年度は1/16, 17実施

①大学入学共通テスト(通称:共通テスト)

国公立大学の一般受験において必ず通らなければならない学力テストです。私立大学も「共通テスト利用入試」といって、多くの私立大学には、「共通テスト利用入試」という入試方式があります。これは、「1月に受けた共通テストの点数だけで、私立大学の合否を判定してもらえる」というもので、戦略的にうまく使える入試方式です。つまり、国公立志望も私大志望も共通テストが一つの目標(クリアすべき壁)になります。

1日目 (1月17日)		2日目 (1月18日)	
地理歴史 公民	2科目受験 9:30～11:40 (130分) 1科目受験 10:40～11:40 (60分)	理科	2科目受験 9:30～11:40 (130分) 1科目受験 10:40～11:40 (60分)
国語	13:00～14:30 (90分)	数学①	13:00～14:10 (70分)
外国語	15:20～16:40 (80分)	数学②	15:00～16:10 (70分)
英語 リスニング	17:20～18:20 (60分)	情報	17:00～18:00 (60分)

⇒共通テストは前南生が目標とすべきテストと認識せよ！

②共通テストの時間割の特徴

2027年度入試の要項は6月に入ってから正式に出ますが、時間割はおそらくこのままと考えられます(入試日は2027年1月16,17日で確定)。



この時間割を見て感じてほしいのは「2日間、それも朝から夕方までという非常にタフな試験」ということです。「朝から学校に来て6コマ授業を受ける」ということが共通テストを受ける体力・耐性をつけることにつながります。3年生で「放課後に模試を受ける」(=共通テストの「リスニング」や「情報」にあたる時間!)ということも同じく共通テストにつながるということを意識してください。⇒タフさを身につけよ！

③共通テストの問題レベル

問題レベルは、大学入試の「基本レベル」と言われています。1,2年生は過去問を解く機会もなかなかありません。でも、身近に測る「ものさし」は実はあります。前南では「授業」が共通テストのレベルです。共通テストが目標とすべきテスト・高校3年間で身につけるべき知識ということです。⇒授業が「ものさし」!